

△産業宣教 産業現場を神殿化(創 1:28)	△レムナント伝道学 シナジー効果を準備しなさい (使 19:21)	△核心 私の中に御座のやぐらを建てなさい(Ⅱコリ 10:4-5)	△散らされた弟子たち 巡礼者の力(ヨハ 19:30)
三つの庭 祈り 24 奥義(問題) 神様が最も顧われることは、教会の中に三つの庭を作ることだ。このとき、祈りから 24 すれば良い。この部分は奥義だ。24 するということは、他のことは全く私に問題にならない。 □序論_24(5力) - 皆さん自身が神様のやぐら(Ⅰコリ 3:16、Ⅱコリ 6:16)となる。神様の聖霊が私に働かれることを知るようになる。24 すればすべての 5 力が回復する。 - 御座化される働きが起こるのだ。 - 神殿化個人、産業現場に神殿化となる。 「産業現場を神殿化」(創 1:27、28) 重職者産業人の産業現場が神殿化されるのだ。神様が神のかたちとして創造されたアダムに、征服して支配しなさいと言われた。この祈りを味わえば私が変わってしまう。ただ福音を握って 24 してしまえば、いちばん最初に霊的な力が生まれる。そして、神様の知恵が生まれて健康、経済、すべてが回復する。 □本論_ネフィリム産業化 - 神殿化の背景 - 御座化-三つの祭り エジプトで血のいけにえをささげる日(過越祭)出て来た。50 日後に神様の力で穀物を刈り入れた。五旬節。この御座が私たちの背景だ。仮庵祭。 - 神殿化-庭 異邦人の庭、子どもたちの庭、病気の人々が祈ることができる祈りの庭を最初から与えられた。 - 作品化-産業 この祈りを味わう産業人に、神様は産業に働かれたということだ。 - 神殿化の答え - 創 1:27-28 実際に私に - 創 2:7、18 私の中に、私のたましいの中に神様の力が現れる。 Ⅰコリ 3:16 力が抜けた信徒に福音で新しく始めなさい。 - 神殿化証人 - 生きたいけにえ(生活) 皆さんの産業を見て未信者が悟るようになるのだ。証人だ。 - 時代の証人になったということは、時代の流れを見たということだ。 - 現場を生かす現場の証人になる。現場に証拠を見せるのだ。 △これから残っている長老を通して、237 を生かすやぐらが立つようになるだろう。 □結論_なぜ 24 しなさいと言われるのか - 神殿化の祝福が生活化されるのだ。 - この御座の祝福が刻印、根、体質なるのだ。 - 皆さんの産業に働きが起こって作品になる。やぐらだ。	「器準備」-シナジー効果(使 19:21) △レムナントの器は、シナジー効果を準備すること。 □本論_かわいそうな人々(内面) - エジプト時代 - 創 41:38、45:1-5 主の霊が宿る奥義を持っている総理として全世界を生かした。 - 出エジプトの働きでイスラエルだけ生きたのではなく、その噂を聞いた人も生かされてエジプトの暗闇も崩れた。 - 申 6:4-9 荒野の終わりにきて、今まであったことを子どもたちに教えなさいと言われる。 - ペリシテ、アッシリア、アラム時代 Ⅰサム 7:1-15-ミツバ運動をして、後にダビデのような人物が出てきた。 - エリシャのような人物がすべての人を生かした。 - 勝利-戦わないでアラム国に勝ち、人々を生かした。 - バビロン時代 - ダニ 3:8-24 生かしたら危機がきた。 - ダニ 6:10-22 死刑宣告された。 - エス 4:1-16 皆殺されることになった時が最高の機会、だまされずにみな生かした。 - ローマ時代 - 使 19:21 2)使 23:11 3)使 27:24 - 流浪の民時代(散らされた者、RT) -パウロが会堂でしたことだ。 - 使 17:1(キリスト) -多くの人が実際にはキリストがなく、祈ることを知らない。 - 使 18:4(礼拝) -安息日、礼拝が何かも分らない。 - 使 19:8(神の国) -神の国を分らない。 □結論 今日の中で未来を見ることがビジョンで、未来と時代を見て今日を見ることが信仰だ。それゆえ、レムナントは小さなことで揺れずに一生を考えて今始めるのだ。	□序論_祈りは霊的呼吸(24 いつでもできるべき) -霊的力があってこそ勝つ Trinity -三位一体の神様が私に臨在されるように祈り(父-みことば、御子-救い、聖霊-力で働き) Throne -御座の力が私に臨めば神の国が臨んで時空超越の時刻表になれば 237 祈りが可能だ。これが私の中に、私のいのちとたましいの中に臨まなければならない。すると、三つの空前絶後のことが出てくる。 Ages -3 時代を生かすようになる。 Universe -宇宙時代が来るためだ。 5 Authority - 5 つの上からの力、いつも祈ることだ。 WITH(ともにを味わえれば、私の考えのやぐらが崩れる) Immanuel(インマヌエルが味わえばサタンのやぐらが崩れる) Oneness(ワンネスの祈りを味わうので教会の中にやぐらが建つ) -人間のやぐらが崩れる。 神様のやぐら(プラットフォーム、光を放つ見張り台、神様と通じるアンテナ)が建つ。 見張り人になる。 □本論_どのように?- 「金土日時代」を開いて私の中に御座のやぐらを建てなさい - 神様が与えられた恵み-準備されたことを味わうべき - 箴 18:10 主の御名がやぐらだ。 Ⅱコリ 10:4-5 サタンのやぐらを押し倒すこと - 様々な議論 - すべての考え Ⅰペテ 2:9(光を宣べ伝えるために呼ばれた) - 私の中にやぐらが建つ - 創 1:27 私のいのち、私の中に働きが起こり始める - 創 2:7、2:18 私の生活の中に - ヨハ 20:22、使 1:1、3、8 聖霊を受けなさい。キリストが神の国のことを説明、聖霊に満たされれば力を受けて証人になることを約束 - 教会を生かすやぐらが建てられる。 - 使 1:14-15 カルバリの丘の契約を見てオリーブ山から派遣された人々が集まった - 使 2:1-4 五旬節の日-集まって祈って風のような、炎のような力が現れ始め - 使 2:9-11 237 の門が開き始め - 使 2:17-18(未来を見た) -預言、幻、夢 - 使 2:41-42、46-47 礼拝の時すべての答えが出てきて道が見える。みことばが成就する。毎日宮で、毎日家で □結論 - カルバリの丘-何を完了したのかを確認しなければならない。 - オリーブ山で与えられた時代を生かすミッションを見つけなければならない。 - この契約を持ってマルコの屋上の部屋に降りてきた。それ以降は揺れたことがなかった。	- 至急なこと確認-道が間違っているのではない。 - ヨハ 19:30 暗闇・地獄・サタンの權威を終わらせた。 - 使 1:3 この地に生きる間、神の国を成し遂げること、イエスが 40 日間説明 - 使 1:8(2:1-13)、証人になること - 時空超越のやぐらを作るべき - 霊的サミット(使 2:1-4) この道に従って、はやくしなければならぬやぐらだ。 - 人を超越すべき(使 2:9-11) - どんな環境も超越(使 2:17-18)すべき。皆さんはそれほど重要で、大変なこともある。 - 少しより至急な時空超越の戦争のやぐら - 創 3:4-5、6:4-5、11:1-8 3 団体、瞑想運動、シャーマン、仏教がすることを防ぐべき - どこへ行ってもこれ(使 13:1-4 聖霊導き、16:6-10 人生のターニングポイントを見つめる、19:1-7 マルコの屋上の部屋(力を体験)先にすべき - 使 13:5-12、16:16-18、19:8-20 それからシャーマン、占術、偶像時代を防ぐべき

△区域メッセージ (第 29 週)
霊的事実と 25 の答え (創 41:1-38)

韓国の田舎に空いた学校が多い。子どもたちがいないためだ。約 30 年間子どもを少なく産みなさいと教えた結果だ。これを変えるのに 300 年かかる。霊的なことは間違って作られれば、恐ろしい結果になる。私たちがこれを分かれば、霊的事実と 25 祈りの答えを知るようになる。そして、創 41:38 にファラオ王がヨセフを見て「この人は主の霊が宿る人だ」と話した。

家庭、教会、産業
やぐら
集中持続祈り (ヘブ 11:1-3)
実像、証拠

△それゆえ、私たち個人、家庭、教会、産業に霊的な家が先に作られなければならない。今から目に見えない教会、家庭、産業に対する祈りがなければならない。目に見えないやぐらを作って集中持続する祈りが必要だ。それゆえ、ヘブ 11:1-3 を見れば、信仰は、望んでいることを保証し (実像)、目に見えないものを確信させるもの (証拠) ですとされている。

□序論_理由

1. 世の国-食べて生きると考えるのが世の国だ。
2. サタンの国-衣食住だけしか分からない世の国を利用するのがサタンの国だ。
3. 神の国(こと)-神の国とそのことの理由を分かるとき、まことの働きが起こる。

□本論

1. 霊的事実-神様の計画
私たちは現実を越えて事実、真実、霊的事実を見て、その中に神様の計画を見るべきだ。
 2. 低いところ-高いところ
いつでも、最も低いところから始まって、最も高いところに向かっていくべきだ。
1) WIO 神様が私とともにおられ、インマヌエル、ワンネスの契約を握るようになる。
2) CVDIP 契約の旅程が見える。
3) 私たちは神様の絶対計画を握るのだ。
 3. 状況-この霊的事実を知れば、どんな状況でも大丈夫だ。
1) とともに どんな状況でも神様がともにおられる証拠が出てくる。
2) 準備 どんな状況でも神様が準備しておかれたことが見える。
3) 勝利 どんな状況でも霊的事実と現実を分かるので、必ず勝利する
- △I コリ 10:13 耐えられる試練だけ与えられ、脱出の道も与えられる。それゆえ、今日が機会だ。

□結論_答え

答えは当然のことだ。そのように見れば祈りの内容が作られる。深い祈りの中に入って行けば 5 力が回復して、理由のない霊的な力が生じる。

△聖日 1 部礼拝
堅固な要塞を打ち倒す力 (Ⅱコリ 10:1-8)

- 序論_堅固なサタンの要塞を打ち倒す神様の力のみことば
1. 神様の力のみことばが臨めば、堅固なサタンの要塞が崩れる。
1) うまくできない私にキリストが信じられる瞬間、サタンの要塞が崩れた。
 - 2) ローマ人への手紙を読んで変化(アウグスティヌス)
 - 3) マタ 11:28 のみことばが入ってって変化(サンダー・シング)
 - 4) 神様のみことばが臨んでサタンの要塞が崩れる(クロスビー)
 - 5) 神様のみことばが臨んで癒やし(アン・サリバンとヘレン・ケラー)
2. 参考にするごと-私に來ている問題は昔からのことだ。言い訳してはならない。
3. コリント教会

- 1) 昔からの国家、教会、家庭問題で霊的世界が完全に分らなくなる (7 節)
 - 2) 主が与えられた驚くべきみことばの權威は、あなたがたを生かそうと与えられたこと (8 節)
 - 3) キリストを通した神様の力のみことばが臨むとき、すべてのサタンのやぐら、堅固な要塞を打ち倒してしまう (4-5 節)
 - 4) プリスカひとりりがコリント教会をローマ福音化する教会に変えた。
- 本論_プリスカ夫婦

1. キリストが与えられたこと (堅固な要塞を打ち倒す答え) を握った人々
1) 変えること すべてのこと、世の中の方法ですることを変えなさい
2) 神の国のことを見つけること
3) 味わうこと ただ聖霊に満たされれば力を受けるようになる(待つ、祈り)
※祈るとき、霊的エネルギーが伝えられる。
2. プリスカ夫婦が伝達したこと (使 2:10)
1) カルバリの丘の契約 (ヨハ 19:30、マタ 28:18-20) を伝達したのだ。
イエスが完了したということと、復活された主が天と地のすべての權威を持っているという事実だ。
- 2) オリーブ山ミッション (神の国のこと) が何か分かった。
- 3) マルコの屋上の部屋で完全にサタンのやぐらをみな崩したのだ。それゆえ、ローマを生かす最高のことをコリント教会がしたのだ。
3. プリスカ夫婦に会ったパウロを通じてマケドニア、ローマに伝えられてサタンの要塞が破壊された
1) イエスを信じる人を捕まえて殺すために行くダマスコでキリストに会ったパウロ
2) アナニアに会ってメッセージを悟ったパウロ
3) プリスカ夫婦に会ってマルコの屋上の部屋でのメッセージを伝達されて、会堂と霊的問題を持っている側に行ったパウロ
4) 全世界の暗闇のやぐらを打ち倒すために、世々にわたって隠されていたことをローマに伝達したパウロ

□結論_祈りのやぐらを建てなさい (黙 8:3-5)

1. 40 日オリーブ山集中、10 日マルコの屋上の部屋集中、使 2:42 礼拝集中、世の中を変える 24
2. 祈りでサタンのやぐらを打ち倒して神様のやぐらを建てる見張り人になるという契約を握って行きなさい。

△聖日 2 部礼拝/237 宣教会献身礼拝
病氣と苦難を与えられる理由 (Ⅱコリ 12:1-10)

最初から神様はあなたの子孫によって国々が祝福されると言われた。最後にもすべての民族に行けと言われた。余裕をもって 237 を味わう祈りをしなさい。

Trinity(三位一体の神様がともに)、Throne(御座の力9つ)、Ages(3時代を生かす答え)、Universe(宇宙、天と地のすべての権威を持たれたイエス様)、Authority(5力)		
定刻祈り (5つのことを解いて祈り)	24 (呼吸して安らかにいつも祈り)	みことばを確認する 深い祈り

□序論_質問

1. 強大国の攻撃を受けるようにされた理由-神様は 237 を生かす答えを与えられたが、できないので、強大国に送られた
2. 宣教の理由-わざわざ、戦争、霊的問題が来て、次世代が揺れて、死ぬため
△悟れば、神様が私たちの職業を 237 にされる。レムナントは 237 に合うように勉強しなければならない。
3. 汚名を着せられて迫害を受ける者(ガラヤの人、キリキア・タルソの人パウロ)がおもに世界福音化した理由-福音を伝えることができる人を呼んで用いられる

□本論_最高の使命を与えられた。どんな苦難と病氣も問題にならない。

1. 聖書の証拠

- 1) 強大国が福音をなくせなかった。
- 2) 王、預言者、祭司は解決できなかった。ただキリストの契約を握った者を通して世界福音化された。
- 3) ヘブ 11 章-世の中が迫害したが、福音を持っている人を止めることはなかった。

2. イエス様の証拠

- 1) マタ 6:32-33 心配してはならない。すべて知っておられる。まず神の国とその義とを求めなさい。
- 2) マタ 10:40-42 わたしが遣わした者を受け入れる人は、わたしを受け入れることだ。水一杯も報いを失わない。
- 3) マタ 28:16-20 あらゆる国の人々を弟子としなさい。天と地の權威でいつもともに
マコ 16:15-20 万民に行きなさい。御座に着かれた主がともに働き
使 1:3-8 神の国のことを説明して地の果てまで証人になると約束

3. パウロの証拠

- 1) 第三の天の世界に入ったパウロ (2 節)
 - 2) 人の話でなく、神様のメッセージを聞いたパウロ (4 節)
 - 3) サタンの使い (7 節) -世界福音化の力を現わすために許された
- △私にある病氣と苦難、そのために世界福音化できる力を受けたと言った。暗闇を防ぐために、237-5000 種族を生かすためには力を集めなければならない。

□結論

1. 障がい者を与えられた理由-神様の絶対使命を成し遂げること
2. 失敗の理由-神様が顧われることで新しく始めなさいということ
3. 未自立の理由-本当のこと、神様のことで始めなさい。